

## 被覆材の算定 ～使用期間や算定要件にご注意を～

Q. 褥瘡に対する処置を行い、皮膚欠損用創傷被覆材を使用しました。被覆材の算定にあたって、注意点などがあれば教えてください。

A. 皮膚欠損用創傷被覆材の使用は、創部の状態に応じた適切な材料の選択、使用期間、在宅での使用方法など、細かい算定要件があります。

まず、被覆材は、創の深さ（真皮に至る創傷、皮下組織に至る創傷、筋・骨に至る創傷）によって対応する材料が異なるため、深さに合った適切な材料を選択する必要があります（下表）。次に、算定期間については「2週間を標準とし、特に必要と認められる場合については3週間を限度として算定できる」とされているため、長期の使用には注意が必要です。

また、在宅で被覆材を使用する場合、①いずれかの在宅療養指導管理料を算定していて、皮下組織に至る褥瘡（筋肉、骨等に至る褥瘡を含む）を有する患者、②在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料を算定している患者、のいずれかに対して使用した場合のみ算定が認められています。①の場合、「原則として3週間を限度として算定」し、それ以上の期間算定する場合は、レセプトの摘要欄に詳細な理由を記載することが必要です。

### 主な商品一覧

真皮に至る 創傷用	アブソキューアーサジカル、テガソープライト ハイドロコロイドドレッシング、デュオアク ティブET、デュオアクティブETスポット、 ニュージェル、ビューゲル、ベスキチン W、ベスキチンW（SP）
皮下組織に至る 創傷用	（標準型） アクアセル、アブソキューアーウンド、アル ゴダム、カルトスタット、カルトスタット CD、クラビオ FG、コムフィールアルカ スドレッシング、ジェリパームウェットシー ト、ソープサン、ティエール、テガソープ ハイドロコロイドドレッシング、デュオアク ティブ、デュオアクティブ CGF、ハイドロ サイト、ベスキチン W-A
	（異形型） イントラサイトジェルシステム、グラニューゲ ル、ジェリパーム
筋・骨に至る創傷用	ハイドロサイトキャビティ、ベスキチン F